



責任者からのメッセージ



放射線科
教授 東 美菜子

放射線医学は、放射線診断(画像診断、核医学、IVR：Interventional Radiology)と放射線治療からなります。近年、高精度で安全な検査・治療を可能にする技術の開発が著しく、人工知能(AI)の研究もさかんで、高度な技術の臨床応用が進んでいます。放射線科では、様々な技術を駆使して、各診療科のニーズに応じ、あらゆる年齢・臓器を対象とした適切な放射線診療を提供することに日々励んでおります。我々宮崎大学放射線科は、宮崎の放射線診療の充実を目的とした人材育成に力を入れ、チーム医療の一員としての心構えや各診療科医師とのコミュニケーションスキル、放射線診療の知識と技術を習得できるような充実した研修プログラムを作成し、熱心に教育を行っています。さらに、最先端の画像技術やAIを用いた研究を行っており、リサーチマインドの育成にも取り組んでおります。みなさんと一緒にお仕事ができる日を医局員一同大変楽しみにしております。

プログラムの特徴

本プログラムは、放射線診断医・放射線治療医となるために必要な研修を、基幹病院である宮崎大学医学部附属病院と連携施設で行います。

- 基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で、放射線診断(画像診断・核医学・IVR)・放射線治療のトレーニングを幅広く受けます。
- 連携施設では、救急疾患や日常よく遭遇する疾患の画像診断を多く経験し、総合的な診療能力を培います。
- 症例報告を含む学会発表の経験を積み、海外での学会発表や論文作成を目指します。
- 希望者は、先進画像を用いた研究や人工知能(AI)研究など、画像診断・放射線治療に関する研究を経験できます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	12名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、藤元総合病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院		
関連施設	都城健康サービスセンター		

取得可能な専門医資格および技能

- 放射線科専門医
- 放射線診断専門医
- 放射線治療専門医
- 核医学専門医
- PET核医学認定医
- IVR専門医
- マンモグラフィ読影認定医
- がん治療認定医

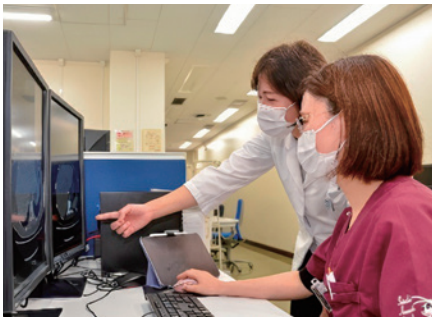
○ 研修コース 本人の希望で決定します

A：大学病院での研修を中心としたコース

B：大学病院で基礎的な研修をしたのち、連携施設中心に研修するコース

C：大学病院・連携施設での研修と博士号取得を同時に目指すコース

	1年目	2年目	3年目
A	大学病院	大学病院	連携施設
B	大学病院	連携施設	連携施設
C	大学病院 (臨床・大学院)	大学病院 (臨床・大学院)	連携施設 (臨床・大学院)



プログラム達成目標

- ① 画像診断・IVR・放射線治療に関する知識の修得
- ② 安全で質の高い医療を提供する専門技能の修得
- ③ 医療人としての倫理観とチーム医療の一員としての姿勢を持つ専門医の育成
- ④ リサーチマインドの育成

経験すべき検査・読影数		経験すべき治療数	
X線単純撮影	400例	IVR	30例
消化管X線検査	60例	放射線治療	30例
超音波検査	120例		
CT	600例		
MRI	300例		
核医学検査	50例		

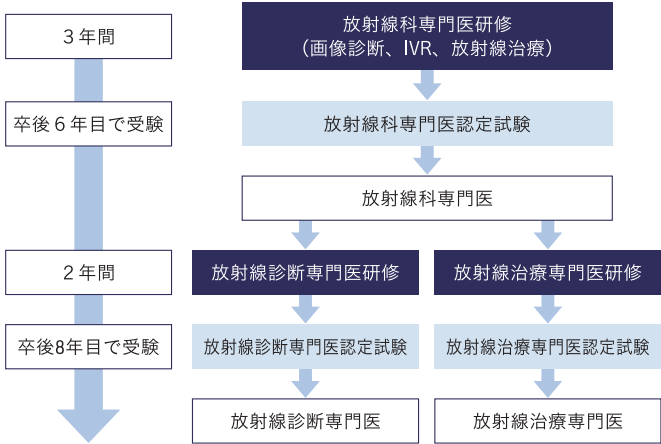
週間スケジュール

- ① CT・MRI ② IVR ③ 核医学 ④ 放射線治療の4つのグループの研修を網羅的に行います。

(ある専攻医の1週間)

	月	火	水	木	金
	CT 病棟業務	CT 病棟業務	IVR 病棟業務	IVR 病棟業務	CT 病棟業務
	MRI 症例レビュー	MRI 症例レビュー	MRI 症例レビュー	医局会・勉強会 病棟カンファレンス 救急カンファレンス	MRI 症例レビュー

専門医取得までのタイムスケジュール



- CT・MRIグループでは、読影のみならず、画像検査の適応判断や撮像法の検討、検査前確認(腎機能やアレルギーなど)、造影剤副作用対応など担当します。
- IVRグループでは、検査や治療に参加し、緊急症例にも対応します。
- 核医学グループでは、放射性同位元素を用いた画像診断や内用療法を担当します。
- 放射線治療グループでは、治療計画や治療中の患者の診察・ケアを行います。
- 毎日午後には各グループで共有すべき症例や教育的な症例をレビューします。
- 指導医と一緒に入院患者の診療を担当します。
- 木曜日の勉強会で論文紹介や症例提示を担当します。

指導医からのメッセージ



増田 梨絵

放射線科は人と関わらず椅子に座って画像ばかり見ている暗い科のように思われがちですが、実は業務は多岐にわたります。CT・MRI・核医学などの読影業務だけではなく、放射線治療や血管内治療、CTガイド下生検など比較的侵襲性の低い治療にも携わっており、患者さんと直接関わることも多いです。腰を落着けて働きたい方、緊急症例をバリバリ経験したい方、自らの技を極めたい方、いろいろな希望を満たすことができます。当科では、将来の宮崎の放射線診療を支える専門医育成に情熱をもって取り組んでいます。また、若手医師や女性医師も多く、キャリアプランについても相談しやすい環境が整っています。ぜひ見学に来てください。



長友 達寛

昨年放射線科専門医を取得し、現在は診断専門医取得に向けて画像診断/IVRを中心に研修中です。放射線科は、いつまでも学び続けることができ、その学びを患者さんへ還元できる点が素晴らしいと感じていますし、モチベーションとなっています。指導医は優しく頼もしく、若い先生も多いため相談しやすい環境です。少しでも興味がある方、ぜひ気軽にローテーションしてみてください。多くいるので気軽に見学に来てください！

先輩からのメッセージ



明利 陸征

私は、放射線科の中でも放射線治療を中心に診療をさせていただいています。放射線治療は、がん治療の3本柱の1つであり、徐々にその存在感が増してきています。根治にも緩和にも携わることができ、特に緩和では局所制御だけでなく疼痛改善や神経症状予防、止血などのQOL維持に直結する効果があります。各診療科の医師、放射線技師さん、看護師さん等とチームを組み、患者さんの生活や想いに寄り添いながら治療を行っています。スタッフも若手中心で、非常に明るく楽しい雰囲気の中、診療させてもらっています。がん治療に興味がある方や、様々な診療科の疾患が診たい方など、ほんの少しでも興味のある方、一緒に放射線治療をやりたいです。



中野 靖子

私は国外で医療現場に身を置いた経験があり、日本は比較的多くの人が高度な医療画像撮影の恩恵を受けることができる素晴らしい国だと思います。それに関わらず、若輩者の私はせっかくの撮像を診療に活かすことができず、臨床研修医中ではもどかしさばかりを感じていました。そこに答えが隠れているかもしれないのに、スクロールを繰り返しても私には描出されない病巣!それならば修煉しよう、と放射線科を選びました。同じように感じられている方、是非どうぞ。



堀之内 裕美

放射線科に興味を持ったのは、読影に苦手意識があったからです。どの診療科でも画像診断は避けて通れないと考え、1ヶ月間の放射線科研修を選択しました。最初は難しさを感じましたが、先生方の丁寧なご指導のおかげで、少しずつ読影のポイントが見えるようになりました。他科と連携して診療を支える役割にも魅力を感じ、入局を決め、今はCT・MRIに加え、核医学、治療など幅広く学んでいます。まだまだ勉強中ですが、だからこそ、画像診断の面白さを感じています。放射線科に興味があれば、是非、一度覗いてみてください。



永田 和己

学生での実習や初期研修医のときに宮崎大学病院の放射線科を研修し、同じ画像を見ているはずなのに得ている情報量が何倍もある姿に憧れ、今年の4月に入局しました。放射線科といえば画像診断・読影のイメージが強いと思いますが、核医学・IVR治療・放射線治療など幅広く活躍することができると思っています。全年齢、頭からつま先まで対象としており、非常に奥深く楽しく学ぶことのできる分野だと思います。放射線科に少しでも興味があれば、ぜひ見学・研修に来てください。

お問い合わせ先

担当：東 美菜子

T E L : 0985-85-2807
F A X : 0985-85-7172
e-mail : minako_azuma@med.miyazaki-u.ac.jp

放射線科 HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/radiology/>

